



## Baby Box (こうのとりのゆりかご) 各国の現状と課題

2018年4月14日(土)~15日(日)

市民会館シアーズホーム夢ホール (熊本市市民会館)



**会長**  
慈恵病院 理事長兼院長  
蓮田 太二

私たち慈恵病院は2007年5月に「こうのとりのゆりかご」Baby Boxを開設しました。これは熊本県で発生した赤ちゃんの遺棄・死亡事件をきっかけに、失われるかもしれない赤ちゃんの命と健康を守りたいという思いで始めた取り組みです。

賛成・反対の意見が多く交わされる中でのスタートで、これまでの道のりも決して平坦なものではありませんでした。日本ではほとんど前例のない取り組みですので、教科書やガイドラインはなく、答えを自分たちで見いださなければいけません。

Baby Boxに関心をお持ちの方でしたら、賛成・反対の立場に関わらず国内外の多くの方々にご参加いただきたいと思います。

副会長 上田厚 (熊本大学名誉教授) 事務局長 魏長年 (熊本大学生命科学研究部准教授)

韓国、中国、アメリカ、ドイツ、スイス、ロシア、ラトビア、ポーランド、南アフリカ、インド、日本 各国のBabyBox運営者が現状を報告します。

通訳付き: 英語がわからなくても大丈夫です。

学生参加費 1000円

一般参加費 5000円

会員参加費 3000円

参加希望者は4月10日までに大塚まで  
motsuka@gpo.kumamoto-u.ac.jpメールでお申し込みください。

エコファーマ担当 大塚雅巳 池水信二